

夢しゃーなる

Vol.
22

阪神北地域ビジョン委員会だより

伊丹・宝塚・川西・三田・猪名川 4市1町



大野山頂からの眺望（関連記事 6 ページ）



地域夢会議（7月31日西宮市中央公民館）

目次

| | |
|-------------------------|---|
| ◆ 委員長あいさつ | 2 |
| ◆ グループ活動紹介 | 2 |
| ◆ 地域見本市の紹介 | 7 |
| ◆ ビジョン委員名簿、イベントスケジュールほか | 8 |



「新しい公」の発展のために 第一歩を踏み出そう!

委員長 内堀 克子

阪神北地域ビジョン委員会は、この地域の人々が豊かに活力のある生活が営まれるよう5期10年にわたり「21世紀兵庫長期ビジョン 阪神市民文化社会ビジョン」を基に市民の参画と協働によって活動してきました。

今期は少子高齢化、価値観の多様化などの時代潮流の変化を踏まえ、阪神北地域ビジョン委員会と阪神南地域ビジョン委員会が共同で「阪神市民文化社会ビジョン」の点検・見直しを行いました。そして2040年頃を展望とした私たちの行動指針として改訂版を取りまとめています。

私たちビジョン委員は地域を超え、世代を超え、ネットワークを広げてそれぞれの目的に向かって活動を繰り返しています。今後も地域の「核」的存在となり、阪神市民文化社会ビジョン —「新しい公」の発展のために— をもとに活動して行きたいと思っております。

グループの活動



多世代交流グループ “じばヤング”

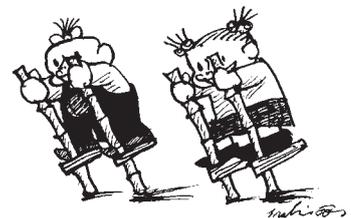
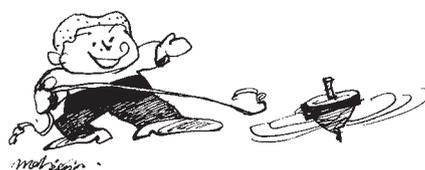
「ママはさり錐使えるんや!」 「じいちゃん、コマ回すの、うまいな!」



今日は地域の納涼大会、いろいろな店が並んでいます。子どもたちがおじいちゃんやおばあちゃんと集まってきました。私たちも「昔の遊び」を引っさげて、仲間入りです。お母さんと一緒に来ているボクもいます。牛乳パックを使った“着せ替え万華鏡”竹で作る“ポッコリ馬”ストロー製の“紙コプター”に折り紙の“手回しコマ”。お母さんに手伝ってもらって一生懸命作りました。作ったおもちゃで遊んでいます。テントの前には、竹で作った“輪投げ”と色んなコマが置いてあります。得意げにおじいちゃんがコマを回して孫に見せています。「ほら、うまいやろ。昔取ったきねづか杵柄や!」「じいちゃん、杵柄って何?」

「まあーええヤン。」よちよち歩いて、子どもが竹の輪を入れに行きました。おばあちゃんが手をたたいて褒めています。あんなこんなで、忙しいけど、充実した一日が過ぎました。

少しは多世代交流のお役に立てたかな。「さあ、次は、どこ?」





地域活動のしくみづくりグループ

いざという時のつながりはできていますか？

退職後、私は【^{つひ}終の棲家】としてわが町を見回すが、何も知らない事に気づきました。『何かで地域デビュー』と思っても、何からどう始めてよいのかわかりません。そこで、手当たり次第に情報収集すべく、地域の「まちづくり」活動や県のビジョン委員会に参加。しかし、わからない事だらけで時間ばかりが過ぎ、一層消化不良になりました。そんな折、市広報で「兵庫県防災リーダー講座生募集」を見つけ受講しました。

一方、昨年4月、川西市明峰小地区内のある自治会長に知人が就任し、色々と相談を受けました。そこで私は、知人を通して「地域づくり」を疑似体験しようと助言を試みました。まずは市の「出前講座」利用により、住民の自主防災への覚醒を促しました。次に防災訓練に子供の参加を示唆したところ、子育て支援事業開始に至りました。併せて、高齢者・障害者の実態把握や、要援護者支援制度への取り組みの重要性を強調。又、実行部隊として、リタイア世代(男性)をいかに地域活動の場に取り込むか等も助言しました。結果、知人は矢継ぎ早の提案を見事に実行し自治会は活発化、新組織も生まれました。知人の人柄と熱心さに負う所も大きいですが、地域住民の自助・共助の意識が芽生えたといえます。



今、グループメンバーは各自地元で「しくみづくり」を模索しています。私自身も日頃からの人のつながりが、いざという時の基本となる事を今回強く実感しました。そして、これからは私自身の挑戦といえるでしょう。



きずなグループ

地域のイベントに参加・手伝いを通して温かいコミュニティ作りを目指して！

7月3日(日)・9月11日(日)



自立生活センター三田「東北大震災 被災障がい者救済募金活動」の手伝い。

《JR三田駅改札を出た所で月1回行う予定です》

7月24日(日) 伊丹南町高層住宅自治会
「高齢者誕生会」に参加。



唄えば踊り・笑う「誕生会」

8月27日(土) 伊丹市立有岡小校区自治会
「夏祭り」手伝い。

残念ながら、途中で降雨により盆踊りは中止となりましたが、各町会の出店するテント内は、大いに盛り上がりを見せていました。

9月13日(火) 宝塚「池ノ島デイサービスセンター」敬老会に参加。 来所の皆様は大喜び。

10月22日(土) 伊丹市立有岡小学校「有っ子カーニバル」に参加。

工作手伝い・バルンアート・演芸等で子ども達と一緒に楽しみました。

今後は、4市1町へ「エリアを広げ」積極的な活動を展開して行きたいと思っています、お声をかけて下さい。



水グループ

とことん水にこだわり 水環境を訪ねて!!

“古都の水しるべ、江戸の高瀬川と明治の琵琶湖疏水をめぐる” 2011.5.19

高瀬川と高瀬舟

江戸末期、豪商角倉了以によって、京の中心と伏見を結ぶ物流用として開発された運河です。物流には底の平らな高瀬舟を用い、荷物の積み下ろしと、舟の方向転換のため、舟入が9ヶ所作られました。今は「一之舟入」のみ残り、史跡に指定されています。

琵琶湖疏水

明治維新による東京遷都より衰退した京都に活力を呼び戻すため、琵琶湖の水を引き、疎水の水力で発電所、工場を造り、物資の流通を盛んにしようと計画されました。明治18年に着工、23年に完成した、日本で最初の土木工事です。

「江戸の高瀬川」「明治の琵琶湖疏水」は、現在の京都のまちづくりの基礎となっています。全て「水」が中心的役割を果たしています。水グループも新しい発想で、水とまちづくりについて考えてみてはと思います。進取のこころを京都に学びたいものです。



琵琶湖疏水記念館

“日本一低い中央分水界を歩く”

2011.7.8

福知山線石生駅^{いそう}で下車、心地よい風の中を水分れの道をたどります。15分ほど歩いて、日本で最も低い中央分水界に至りました。後の向山から雨水、雪解け水、地下水等が一つになって高谷川に集まり、約1250Mの間を海拔100M前後で分水界を形作っており、左側は由良川を経て日本海に注ぎ、右側は加古川を経て瀬戸内海に注いでいます。

故に、この地^{みわか}を水分れと名付けられています。

ここは「水分れ公園」として美しく整備されており、木立の中には室町時代末期の様式を残す「いそ部神社」が静かな佇まいを見せています。

今回の散策は、自然の神秘と人の知恵、水と親しみ水を考えるなど、私たち水グループの活動に貴重な示唆を与えてくれました。



日本一低い谷中中央分水界



みどりの「環」グループ

身近な「みどりの資源」を知る

当グループでは、身近な「みどりの資源」を自らの目で調査、確認し、貴重な自然(みどり)の大切さを感じ取り、多くの人々に伝えていくために、「巨樹・巨木・名木・気になる木」、「みどりの公園」、「社寺の社」、「里山・ふれあいの森・緑地」、「みどりの自然歩道・散策道」等のみどりの資源を発掘することを目標に活動を行ってきました。

今年度は、3年間にわたるグループ活動のまとめとして、私たち自身が調査・確認した、これらの「みどりの資源」についての報告書をつくることを目標にしています。

私たちの調査・確認の成果のほか、4市1町の行政機関を訪問しての情報交換や、阪神北地域ビジョン委員会専門委員やアドバイザーの先生方のご指導・ご助言をいただきながら、今年度中の完成に向けた編集作業を行っているところです。

この報告書で、多くの人に、身近にすばらしい「みどりの資源」があることに気づいてもらい、自然(みどり)との共生について考える契機としてもらえることを願っています。



法蔵寺の大クス(伊丹市)



らぼ・こどもと・ゴミ環境グループ

心地良い環境との空間を創造し、人と交流しましょう

2010年度のゴミ減量活動で回収した枯れ葉を使った、農業体験による実践活動も終盤を迎えました。春に植えた苗が元気に実り、収穫に向けて黄金色に輝く稲穂を見て心も癒され、私達も田植えや・稲刈りの農作業を楽しませてもらいました。何よりも多くの方がこの様なゴミ減量活動に参加いただき、私達の思いが届いた気がします。今年度開催された、世界田植え選手権・世界稲刈り選手権(震災支援事業)でこども達と共に収穫したこしひかりを、宮城県の被災地のこども達に届けることも決まっています。都市と農村で共有できる空間・心地よい環境の空間を創造し、人と交流出来たのではないかと思います。これからも皆様のご協力をよろしく。

世界田植え選手権 2011年5月25日 三田市東本庄(田んぼのなか) 天候:悪天のなか67名の参加。



阪神北管内では、「ECOクリーン隊」がゴミ減量のため3世代による地域活動を実践しており、環境にやさしい方法として、地域で枯れ葉を集めて堆肥にしています。田植え選手権や稲刈り選手権は、こうした枯れ葉回収による堆肥を活用した環境保全型農業を通じて、市民のゴミ減量への理解を深めることを目的として開催されました。



世界稲刈り選手権 2011年10月9日 三田市東本庄(田んぼのなか) 天候:秋晴れの中80名の参加者で無事、開催されました。ゴミ減量活動で回収した堆肥のお蔭で大豊作でした。コンポストづくり・餅つき・ミニ重機を使ったゲームもあり、みんな楽しかったよ。

上記はゴミ減量活動の一部です。「らぼ・こどもと・ゴミ環境G」設立(2007年度)以来今年度で5年。当初の目標であった1000人の活動参加者は既に達成し、今年10月で3000人以上の活動参加者を得ました。皆様のご協力有難うございました。



地域環境会議グループ

子ども達と考える 里山のこと・できること

東日本大震災後、メンバーは各々で被災者の支援活動や他組織と共に行動しており、部会活動は休止状態となっていました。夏を過ぎ秋風が吹くようになって少し落ち着いてきました。そこで、昨年度から計画されていた「北摂里山フォーラム2011」に参画することになりました。この催しは11月12日(土)に兵庫県立人と自然の博物館ホロンピアホールにおいて開催され、北摂の里山の魅力を理解し、素晴らしい環境の保全に取り組む意欲ある活動を推進していくものです。里山は日本人が昔から自然を生かし、生活の糧として利用し地域を造ってきた大事な場所で、日本の農村の伝統ある生活様式が含まれています。ところが最近では生活様式の変化、林業・農業離れ、若者の流出、地域の人口減少、住民の高齢化等で里山が放置されがちで、昔からの環境が破壊されてきています。

里山には生物多様性を保存させる森としての大事な役割もあり、農村にはなくてはならない場所なのです。今回のフォーラムでは小中学生を対象としたワークショップがあり、子ども達と一緒に北摂の里山を知り、魅力を発見し、保全する意義と方策を考えます。多くの人たちの参加を願っています。



昨年度のワークショップ(県立人と自然の博物館:三田市)



であいたいグループ

阪神南・北グループ連携交流活発化

「であいたい」グループは前年度から大きく人数が減少したため、昨年度から交流を進めている阪神南地域ビジョン委員会再発見クラブに相乗り活動をお願いし快く了承いただきスタートを切りました。

第1回目の活動は6月28日の再発見クラブ企画「わが街再発見!! 近松の里をたずねて」に参加しました。尼崎にもこんなところがあったのかと思うぐらい静かな落ち着いた佇まいの街並みが残り、その一角に江戸の戯作者近松門左衛門の痕跡を訪ねました。近松が戯曲を執筆した机や近松のいわれを伝える近松記念館、墓所のある広済寺などをめぐりました。当時、浪速から舟で神崎に上がり街道伝いにこの地「久々知」に至ったということです。



第2回目は7月2日、猪名川・川西チームが企画した「アジサイまつ盛り初夏の大野山を訪ねませんか」というキャッチコピーで梅雨の合間を縫って阪神間の最高峰大野山(標高754m)に登りました。阪神北地域ビジョン委員会の委員長も同行され“しんどかったけど大変楽しい”一日を過ごしました。

大野山の山頂付近には猪名川の源流があり、山頂のそばには猪名川天文台もあります。昼間はプラネタリウムも楽しめ登山で疲れた体を仰向けに心地よく天空を眺めました。帰路この地域特有の景観ポイント「太鼓岩」のダイナミックな景観を体験しました。大野山溶結凝灰岩と呼ばれ火山灰が溶けて固まった岩石で節理に雨水が入り割れてできた大岩が独特の景観を作っています。

帰りに日生中央でみんなで喉を軽く潤し、何名かはそれに飽きたらず宝塚で遅くまで語り合いました。



シンボルプロジェクトグループ

活動するみんなが主役の『地域見本市』を開催

企画運営する側も参加する側もみんなが楽しめる「地域の文化祭!!」それが第5期シンボルプロジェクトグループの作り上げた地域見本市です。個性あふれるメンバーがアイデアを出し合い、開催場所も三田市、猪名川町と阪神北4市1町を順次まわり、開催地の様々な団体や人々の協力を得ながら作り上げてきました。地元高校生の皆さんもマスコット担当として大活躍で、阪神南からもビジョン委員の皆さんが駆けつけて盛り上げて頂きました。3年目の今年は「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」の中で開催します。

あなたも地域見本市に参加して絆づくりをしませんか。



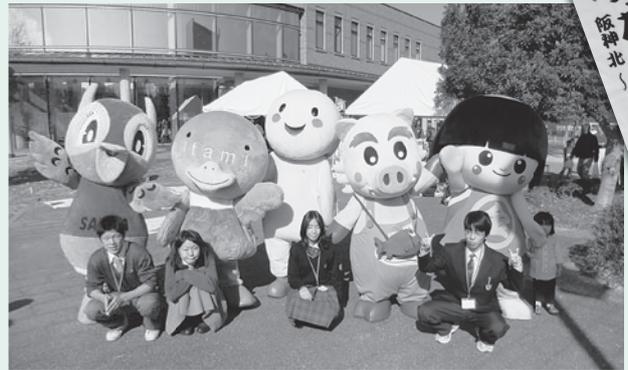
(写真は昨年度の模様です)

地域見本市

「育もう!地域の夢と未来、私たちの絆」 ～WE♡阪神北～ Part3

in きらっと☆阪神北オータムフェスタ

第5期シンボルプロジェクトグループがプロデュースする『地域見本市』も今回で3回目を迎えました。さらにパワーアップした「地域の文化祭!!」として「きらっと☆阪神北オータムフェスタ」の中で開催します。この秋、宝塚が熱くなります。是非皆さんでご参加下さい。



祝
地域見本市
WE♡
阪神北

★開催日 2011年11月26日(土)

★時間 10:00～16:00

★場所 ①宝塚市立男女共同参画センター
②宝塚市立宝塚文化創造館(13:00～15:00)
③JR宝塚駅前ペDESTリアンデッキ

★内容 ①地域団体・ビジョン委員会の活動紹介展示コーナー 等
②ダンスや演芸の実演、特産品の販売コーナー 等
③マスコットキャラクターが阪神北をPR

★同時開催イベント

- ①地域活動功労者表彰式
- ②子ども文化フェスタ
- ③青少年フェスタ
- ④東北の被災地支援展
- ⑤阪神北地域を中心に活動する地域団体や青少年団体のステージ 等



(写真は昨年度の模様です)

◎代表 ○副代表 (2011年4月現在)

① 多世代交流グループ “じばヤング”

【伊丹市】 内堀 克子、○狩野 勇、濱口 彰
 【川西市】 九重谷 員子、多田 文子
 【三田市】 歳内 紀子、◎藤村 晴彦
 【猪名川町】 藤田 幸夫

② 地域活動のしくみづくりグループ

【宝塚市】 千秋 良雄、龍野 憲三、西田 均
 【川西市】 ◎大村 衣子、駒井 澄子、島田 巖夫、
 前田 俊彰
 【三田市】 ○前田 保和
 【猪名川町】 川西 龍雄
 【神戸市】 松田 康之

③ きずなグループ

【伊丹市】 ○有賀 悦子
 【宝塚市】 ◎山内 一久、佐藤 裕久
 【三田市】 森 恭之助、吉田 みち

④ 水グループ

【伊丹市】 伊藤 忠徳
 【宝塚市】 金輪 剛、吉田 あい子、◎若月 令子
 【川西市】 秋山 英彦、○田村 幹夫、團野 隆、
 増田 寿男

⑤ みどりの「環」グループ

【宝塚市】 ○竹田 勝視
 【川西市】 ◎仲 正義

⑥ らぼ・こどもと・ゴミ環境グループ

【伊丹市】 浅香 知子
 【川西市】 ○波多野 昭治
 【三田市】 ◎谷口 昭広、原田 修平、山本 義則
 【神戸市】 岩崎 亮太、田中 大地
 【尼崎市】 谷口 善一
 【西宮市】 山東 章大
 【篠山市】 岡本 庚

⑦ 地域環境会議グループ

【伊丹市】 ○植松 良夫、○中村 一夫
 【宝塚市】 梅脇 成公、岸 恭子、二井 久和
 【三田市】 ◎永井 和男

⑧ であいたいグループ

【宝塚市】 ○大矢知 俊雄、◎田村 博美、
 平野 浩太郎
 【川西市】 塩見 八郎、十河 紀一郎、原 尚弘
 【三田市】 小野 正彦、辰巳 弘継、内藤 耕治、
 藤田 裕彦、山添 卓爾
 【猪名川町】 山本 秀和

⑨ シンボルプロジェクトグループ

【宝塚市】 石井 彰、小椋 重保、◎西林 陽子、
 ○波田 剛、三宅 三千男
 【川西市】 ○斯波 康晴、吉岡 行廣
 【三田市】 福田 秀夫
 【猪名川町】 諏澤 三沙

役員 委員長：内堀 克子 副委員長：藤村 晴彦、龍野 憲三 企画調整部会副部会長：西林 陽子
 広報部会 部会長：岸 恭子 副部会長：九重谷 員子、多田 文子、駒井 澄子
 部会員：山内 一久、有賀 悦子、秋山 英彦、仲 正義、谷口 昭広、大矢知 俊雄、波田 剛

** 専門委員・アドバイザー・オブザーバー **

| 専門委員 | アドバイザー | オブザーバー |
|--------------------|---------------------------|--------------------|
| 芳田 茂樹 大手前大学 准教授 | 小西 康生 神戸大学 名誉教授 | 小野 信江 伊丹市 政策室主幹 |
| 藤本 真里 兵庫県立大学 助教 | 中瀬 勲 兵庫県立人と自然の博物館 | 土屋 智子 宝塚市 政策推進担当課長 |
| 今井 一郎 関西学院大学大学院 教授 | 副館長兼事業推進部長 | 岡本 匠 川西市 政策課長 |
| 滋野 英憲 神戸国際大学 教授 | 西浦 道雄 兵庫県国際農業者交流協会 会長 | 北中 耕作 三田市 企画政策課長 |
| | 中川 勝子 三田市いずみ会 会長 | 曾野 光司 猪名川町 企画財政課長 |
| | 住井 一代 第4期阪神北地域ビジョン委員会 委員長 | |

** イベント スケジュール **

| | |
|----------------|---|
| 2011年11月26日(土) | 「地域見本市 育もう！地域の夢と未来、私たちの絆 ～WE♡阪神北～ Part 3」開催。宝塚市にて、シンボルプロジェクトグループ担当。 |
| 2012年2月18日(土) | 「夢フェスタ たかが里山・されど里山」開催。三田市にて、らぼ・こどもと・ゴミ環境グループ担当。 |

広報部会から

山脈の紫が冴える頃になり、無事に編集作業を終えました。原稿作成、編集作業、日程・業者との調整などに関わってくださった皆様方に感謝です。

東日本大震災、台風12号・15号から地域の防災、活性化、再発見、地産地消等々、取り組まねばならない課題が増えました。地域づくりは各々の足元の身近なところから出来る範囲で関わり始めることが第一歩。被災地に心を添わせながら、豊かな自然と先人たちの生き方に学びつつ、誇りある阪神北地域を夢見ていきたいものです。

2011年11月

発行：阪神北地域ビジョン委員会

HP http://web.pref.hyogo.jp/area/n_hanshin/vision.html

(連絡先) 〒665-8567 宝塚市旭町2-4-15

阪神北県民局 県民協働室ビジョン課

TEL 0797-83-3119 FAX 0797-86-4379